

## 第 47 回鹿児島県高等学校新人ソフトテニス競技大会

### (全国選抜九州地区大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会 鹿児島市教育委員会  
鹿児島県ソフトテニス連盟
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟ソフトテニス競技専門部
- 4 期 日 (女子) 令和 4 年 1 1 月 3 日 (木)・4 日 (金) ※雨天予備日 1 1 月 5 日 (土)  
監督会議 3 日 (木) 8 時 3 0 分  
(男子) 令和 4 年 1 1 月 6 日 (日)・7 日 (月) ※雨天予備日 1 1 月 8 日 (火)  
監督会議 6 日 (日) 8 時 3 0 分
- 5 会 場 鹿児島市営東開庭球場  
1 日目…団体戦  
2 日目…個人戦
- 6 競技規定 現行の日本ソフトテニス連盟発行のハンドブックによる。
- 7 競技方法 トーナメント方式による。7 回ゲーム。但し、場合により 5 回ゲームとすることもあ  
る。(団体戦はベスト 4 によるリーグ戦とベスト 8 によるリーグ戦を行う。)  
ボールは男子ケンコーボール、女子アカエムとする。
- 8 引率・監督 (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長  
の認める学校の職員とする。  
また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第 22 条の 2 に  
示されたもの)も可とする。ただし、「部活動指導員に引率を委嘱する校長は、高体  
連会長に事前に届けること。  
【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・  
講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条  
件を全て満たし、校長が承認した者である。
  - 1 正規職員であること
  - 2 当該部活動の指導を常時行っていること
  - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指  
導に関する単位を 1 単位以上取得し、かつ 6 年以上の勤務経験があること(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償  
責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。  
但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定めら  
れている場合は、その規定に従うことを原則とする。
- 9 参加資格 (1) 本年度県高体連加盟校在籍学生で 1・2 年生に限る。但し、休学中、留学中の生徒は  
除く。
  - (2) 本年度県ソフトテニス連盟加盟校在籍学生であること。
  - (3) 平成 16(2004 年 4 月 2 日以降)に生まれた者とする。但し、出場は同一競技 2 回まで  
とし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
  - (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認  
めない。
  - (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認  
める。「合同チーム参加届け」を提出する事
  - (6) 部員不足によるペア・チームの編成が困難な学校は、専門部に必ず連絡をしたうえで  
同じく部員不足の学校同志による合同ペア・チームでの大会参加を認めることもあ  
る。「合同チーム参加届け」を提出する事

- ア 団体戦においては、部員数が4名での出場を認めているので、部員不足とは3名以下とする。ただし、その場合の個人戦出場は、合同チーム内の枠内とする。
- イ 団体戦には出場できないが、個人戦のみ出場の場合は部員数1名しかいない場合とする。
- ウ ペア・チームの編成においては、計画的に合同練習を実施できる近隣の学校同志を原則とする。
- エ ユニフォームについては、各学校のものを着用する。
- オ 監督・コーチについては、合同チームにて話し合い、申込に間に合うように監督・コーチを決定する。
- カ 合同チームは上位大会への出場は認められない。
- (7) 離島における特別支援学校高等部支援教室（以下「支援教室」という。）とその設置高等学校（以下「設置校」という。）は、特例として下記により合同チームでの大会参加を認める。
- ア 加盟校ではない特別支援学校の支援教室の場合は、大会開催基準要項における参加資格の特例、大会参加資格の別途に定める規定並びに本連盟細則第13条に従い大会参加を認める。
- イ 合同チームは上位大会への出場は認められない。
- (8) 転校・転籍後6か月未満のものは参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。（「大会出場許可申請書」を提出）
- (9) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (10) 参加申込書提出後、出場を辞退しなければならなくなった場合は大会出場辞退届けを速やかに提出する。
- (11) 団体戦1校男女各1チーム（3～4組、但し2組での出場も可）、個人戦男女各8組以内。
- (12) その他の事項については、全国大会要項に準ずる。
- (13) 参加資格の特例による学校（生徒）の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」のとおりとする。

10 参加申込 参加申込みに際しては、当該学校長の責任において所定の様式（参加申込書）により **2部作成(1部は写しでも可)**し、定められた期日までに申し込むものとする。女子の申込書は男子と混同しないように右上の角を切ってください。

また、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

(1) 申込方法

所定の申込書に記入し、10月21日（金）午後4時半までに必着。  
（届かなかったものは受け付けない。封筒に競技名を朱書すること。）

(2) 申込場所

ア) 所定のエクセルデータを印刷して下記の所に送付してください。

鹿児島市谷山中央8丁目4番1号（〒891-0141）

県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛（TEL 099-268-8391）

イ) 所定のエクセルデータを下記のメールアドレスに送信してください。

**kagoshima\_hs\_soft\_tennis@yahoo.co.jp**

(3) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合（団体）は、速やかに競技専門委員長及び県高体連事務局に連絡し、「大会出場辞退届」を県高体連事務局に提出する。

## 1 2 大会参加負担金

- (1) 参加申込生徒一人当たり 500 円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー等は除く。）を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。
- (2) 参加を予定とする実人数とする。（重複しての徴収はしない。）
- (3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。
- (4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

## 1 3 組 合 せ 団体戦・個人戦とも組合せ基準により編成する。

組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

## 1 4 表 彰 団体 3 位、個人 3 位

## 1 5 そ の 他

- (1) 男女上位団体 2 チーム、個人上位 8 組は熊本県で行われる九州大会の出場権を得る。
- (2) ユニフォーム・くつ・ラケットは（公財）日本ソフトテニス連盟が公認したメーカーのテニス製品を使用すること。
- (3) 背部には B5 版の三段ゼッケンをつけること。フォントはゴシックとする。  
学校名には高校または高専を入れること。

（例）



- (4) 団体戦における補欠は必ず記入しておくこと。（補欠を記入していない場合、当日選手に出場できない者がいても申込書に記入していない選手は出場できない。個人戦は補欠を認めない。）
- (5) 申込書は所定のものに記入し、県ソフトテニス連盟のものでは不可とする。
- (6) スコアボード用の校名を市販の白表紙(15×40)に肉太の墨字で横書きにして参加組数だけ持参すること。
- (7) 個人戦の申込みは強い組から順に書くこと。